

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	名曲概論	担当者名	笹森 誠
授業の概要	<p>明治期から現代までに誕生した歌で、多くの人知っている名曲を年代順に取り上げ、その歌にまつわるエピソードを学び、詞の内容と音楽を味わう。取り扱う音楽ジャンルは、その時代に流行った、伝承歌、唱歌、童謡、歌謡曲が中心。また、各自が思う名曲を1曲選び、その作品紹介を行う。</p> <p>学んだ知識は、世代が上の方々とのコミュニケーション・ツールの一つとして活用できるため、高齢者施設への就職を目指す人はもちろん、超高齢社会で生きる人の一般教養の一環となる。</p>				
科目の到達目標	その時々流行った歌を知るだけでなく、歌を通してその時代の社会状況や文化を学ぶ。そして、人文社会科学の一環として、「歌は世につれ、世は歌につれ」を理解することを目標とする。				
DPの観点	⑤社会性(40)、⑦思考力(30)、⑨主体性(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	<p>当日の授業で学んだ各作品の特徴を理解(復習)すること。【1.5時間】そして、翌週取り上げる作品の特徴を各自の視点で調べる(予習)こと。【1.5時間】また、各自の作品紹介の準備(曲選び、発表用データ・発表内容・配布資料等作成)をすること。【15時間以上】</p>				
フィードバックの方法	毎時間の提出物(ICT活用)の返却によって行う。				
単位認定の要件	提出物や各自の作品紹介の状況により判断する。				
評価の方法・割合(%)	毎時間の小テスト(50%)、各自の作品紹介(30%)、その他提出物の状況(20%)				
履修上の注意事項	配布資料が多いので、30ポケット程度のファイルを用意すること。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			ガイダンス。時代の流れの概略と音楽取調掛設立周辺の音楽状況を知る。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
2			明治10年代～30年代の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
3			明治30年代～40年代の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
4			大正期前半の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
5			大正期後半の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。作品発表告知	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
6			明治～大正期までの歌のまとめ。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
7			昭和元年～11年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
8			昭和11年～20年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
9			各自が選んだ作品発表	⑨主体性	リアクションペーパー
10			昭和25年～34年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
11			昭和21年～24年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
12			昭和35年～43年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
13			昭和45年～平成期までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
14			平成期以降の歌と補足。	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
15			全体の振り返りとまとめ	⑤社会性、⑦思考力	リアクションペーパー
期末試験					

使用テキスト	『思い出の童謡・唱歌200』(編集:成美堂編集部、出版:成美堂出版)
参考文献 参考URL	『唱歌・童謡100の真実』(著者:竹内貴久雄、出版:YMM)、『歌でつづる20世紀』(著者:長田暁二、出版:YMM) 『流行歌20世紀』(編著者:長田暁二、発行:全音楽譜出版社)、他
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--